

徳地の森通学キャンプ

〈令和4年2月23日（水）～26日（土）〉

【目的】

他の小学校区から参加したり学年が異なったりする友達と、家庭を離れて自然の家で3泊4日の共同生活を送ることにより、自立心と規則正しい生活習慣の素地を養うとともに、他校区の友達と交流し、協力して挑戦する体験を通して、スムーズに中学1年生での生活に移行する素地をつくる。

【参加者】 山口市徳地地域の小学4～6年生 13名

【プログラムの内容】

1日目

10:20 開会式
10:30 仲間づくりの活動
13:00 日程説明
15:30 カレーライスづくり

2日目

7:10 通学
16:30 学習タイム
18:30 洗濯・フリータイム

3日目

7:10 通学
16:30 学習タイム
18:15 チャレンジハイク計画

4日目

8:50 徳地チャレンジハイク
13:20 ふりかえり
14:15 閉会式

「仲間づくりの活動」



初めて出会う参加者同士やスタッフと交流を図るための活動を行った。元々知り合いの参加者もいればはじめて出会った参加者もいる中で、参加者同士がうちとけるきっかけづくりとなった。

「カレーライスづくり」



カレーライスづくりを通して、炊事方法を身につけるきっかけとするとともに、グループで協力し、一つのことを成し遂げる機会の提供を図った。

「フリータイム」



自立した生活行動を行うとともに、よりよい時間を過ごすためにグループ全員の意見をまとめ、一緒に活動する機会となった。参加者たちは、洗濯機で洗濯を行っている間、ドッジボールをして楽しんでいた。

「徳地チャレンジハイク」



自然の家をスタート、約13km離れた山口市徳地体育館をゴールとし、グループごとに徒歩でゴールを目指す活動を通して、グループ全員で課題に取り組む機会となった。また、行程中に自分が気に入った地域の風景を写真に撮り、ふりかえりに活用することで、地域への愛着形成を図った。

【参加者の声】

- ・3泊4日で3日みんなととまれたから楽しかった。
- ・ほかの人とふれあうことができて楽しかった。
- ・決められた時間の中で行動するのはきつかった。
- ・長い距離を歩く中で、みんなと協力したりして、あきらめずに歩けてよかった。
- ・いつもはあまり運動したり長い距離を歩いたりしなから、家でも歩いたり運動するようにしたい。

【成果】

- ・日程を重ねるごとに、時間を見て早めに準備したり、自発的に他の参加者の支援をしたりといった参加者の自立的な行動が増え、事業の目的を一定程度達成することができた。
- ・半日程度で実施可能な小学生向けの活動プログラムとして「徳地チャレンジハイク」を新たに開発し、実践することができた。

【課題】

- ・感染症の影響でボランティア等のスタッフ確保が困難となり、参加者の安全確保の面で余裕のない運営となった。